

## 令和7年度 3学期始業式 校長式辞要旨

・今年は十干十二支でいう「ひのえうま」の年である。「えと」というのは皆さんがよく知っている「巳年」「午年」など 12 種類の動物に陰陽五行説をあわせたものである。「陰陽五行説」とは、この世のものはすべて陰か陽のどちらかの気に属しており、さらに「木火土金水」の5つの要素にも属しているという説である。陽のことを「え」とよび、陰のことを「と」とよぶ。今年は火の陽でウマの年にあたる。「ひのえうま」の女性は気性が荒く、夫を早死にさせるという迷信から、今から 60 年前の 1966 年の「ひのえうま」の年は出生数が大幅に減少した。

一方で「ひのえうま」の年は、強いエネルギーを持つ縁起の良い年ととらえる見方もあるので、ぜひ良い方にとらえて、発展の年にしてもらいたい。

・大学進学をめざす3年生にとっては正念場が続く。すでに入試を終えた生徒は友人を応援してほしい。受験生の健闘を祈る。

・3学期は、探究活動の総まとめとして発表会がある。1年間の学習成果発表の場が充実したものになるよう取り組んでほしい。

・昨年末は国際情勢の話をした。今年は平和で明るい年になるように全員で願おう。そして、生徒諸君にとって今年1年が穏やかで充実した楽しい1年になることを願う。